

東久留米の男女共同参画情報誌

特集

p4~9

と め め さ さ さ

シネマdeおしやべり

きつと観^みえてくる あなたの生き方
（上映作品を振り返る）

トップ・インタビュー p2~3

「第二の人生を地域の中で」

～自宅で地域交流サロン～

情報ホットライン p10~11

書籍紹介 講座レポート

フィフティ²から p12

パパクラブ@東久留米へ!

2008 秋

NO.

41

Top INTERVIEW



第二の人生を地域の中で

自宅で

地域交流

サロン

鈴木 灌太郎 さん
鈴木 春江 さん
ご夫妻

これまでの経験を生かし、自宅に地域交流サロン「山野草」を開いた鈴木ご夫妻。昨年11月からミニデイホームを、今年6月から喫茶室スタイルの談話室をスタートさせました。サロンにおじやましてご夫妻にお話を伺いました。

●長年にわたる介護経験

灌太郎さんは長男、春江さんは一人娘。結婚した頃からそれぞれの親の将来と、自分たちの第二の人生を一緒に考える必要があると思っていたそうです。20年ほど前に春江さんの父が亡くなり、灌太郎さんの父も倒れてしまったので、農協勤めをしながら病院に通うことになりました。

その父を見送り、母と同居生活を始めましたが、5年ほどして母が寝たきりになりました。母の介護は春江さん一人では1週間も持たない状況で灌太郎さんは「このままでは、家族が崩壊してしまう」と、農協を50歳で早期退職、障害者福祉施設でパートの仕事をしたが、ともに

在宅介護を始めました。

3年前に91歳で灌太郎さんの母が他界。その1カ月後、今度は春江さんの母が脳梗塞で倒れてしまいました。現在は、92歳の春江さんの母と同居し、週4回ケア施設を利用しながら、息子さんも含めて4人家族の毎日を過ごしています。

●第二の人生にサロン立ち上げ

灌太郎さんは「これまでの介護経験を生かして、地域の団塊世代の皆さん、高齢者の皆さんが気楽に集える場所を作りたい。介護の情報や悩みを共有できる場になればいい」と、サロン立ち上げを思い立ったそうです。

サロンの準備は介護をしながら事業計

画を作成し、時間をかけて進めてきました。身の丈にあった事業を心がけたそうです。

サロンのイメージは「白樺に囲まれた軽井沢の別荘」。以前訪れて心に残った軽井沢の風景のように、サロンを訪れた方にも心を癒してもらいたいと思ったとのこと。建物やインテリアにもこだわり、まさに高原の風が吹く軽井沢のような雰囲気が漂います。

●「山野草」に込めた思い

ご夫妻は日ごろ仲良く近所を散歩され、道に咲く野の花に癒されるといいます。サロンを山野草と命名したのは春江さん。「最近の世の中は何かピリピリしてい

ますよね。子どもの頃に見た道端に咲いていた草花を思い出す、そんなイメージで考えました」

サロンの入り口の看板やウッドデッキ、季節の草花が植えられた庭は全てご夫妻の手作り。サロンがオープンした現在も時間を見ては作業を続けているそうです。



ファイフティ²主催講座

私たちのこれから

”くらしむきと働き方” Part 3

「働くことは生きること」

私は正社員になりたい」

○日時 平成20年5月24日(土)

午後7時～9時

○場所 男女平等推進センター

会議室

○講師 小林美希さん

(労働経済ジャーナリスト)



小林美希さん

長時間労働で過労にさらされる正社員、低賃金や細切れ契約で将来に不安を抱える非正規社員―講師の小林さんは、ジャーナリストとして取材された労働現場の実態について、「こんなことは許せない」という熱い思いを静かな口調で話しました。

名前をよく聞く大企業も社員を使い捨てのように扱いて、人件費を抑えて利益を増加させているという事実には愕然としました。参加者からも深刻な労働状況が話され、個人の問題

では済まされない、社会の問題であると思いました。

私たちにできることは何かという問いに、小林さんは「少人数でも点がつながつていくことが大事。仲間での勉強を始めた例もある」と言っていました。働くことを考えることは、自分自身がどう生きるかを考えることなのだ、とても勉強になった講座でした

広報誌・HPづくりお役立ち講座

「よりよい表現ナビ」

○日時 平成20年6月21日(土)

午後1時30分～3時30分

○場所 市役所 701会議室

○講師 諸橋泰樹さん

(フェリス女学院大学教授)



諸橋泰樹さん

私たちの日常は、さまざまなメディアからの情報で溢れています。私たちが情報の受け手であり、また時には情報の発信者・表現する側になることもあります。「よりよい表現」

を学ぼうと講座に参加しました。

ソフトな語り口の諸橋教授は、小金井市で男女平等推進委員もされ、メディアに関する講演などで全国を飛び回っているそうです。講座は、まず始めにメディアについてのレクチャーで、「メディアは構成されている(作られている)または演出されている」との話がありました。かつて放送されたテレビCMを新たに男女共同参画の視点から見ると、色や役割の固定化(男性は青、女性は赤。男性は仕事、女性は家事など)がその根底にあることもわかりました。

グループに分かれてのワークショップでは、チラシやパンフレットなどの広報物数十種類を分析。グループによって評価が違うケースもあり興味深く、「表現」に対する印象というのは、受け手により違ってくることも実感しました。「議論のプロセスが大事であること」「決めつけをしない社会を作ること」「21世紀のキーワードは『多様化』である」とのお話はとても印象深かったです。

見て、考えて、書いて、語って…と参加型で楽しく学べ、内容が盛りだくさんの講座でした。これから「表現」に関心を持つていきたいと思えます。



市民企画講座

「男性向け薬膳料理

ちよこつと入門」

○日時 平成20年6月12日(木)

午前9時45分～午後1時30分

○場所 西部地域センター 調理室

○講師 清水紀子さん

(国際薬膳師・管理栄養士)

○企画・運営 薬膳健康研究会

男性が基本的な料理の作り方とともに「食と健康」について関心を持つてほしいと薬膳健康研究会が企画しました。

当日は料理初心者も手馴れた手つきの人も、和気あいあいと調理台を囲みました。後日「家で早速作ってみました」という声センターに届きました。



五季・五色・五味・五臓の薬膳料理

薬膳料理 メニュー

- ・黒米ご飯
- ・鮭のなべ照り焼き甘酢かけ
- ・かぼちゃの味噌マヨサラダ
- ・紫蘇としいたけの吸い物
- ・はと麦入りヨーグルトポンズ



「あきらめない」

鎌田實著 集英社 / 1,575円(税込)

明日を見つめる生き方



健康に関する本や一般向け医学関係の本が数多く出回っているが、いずれも、帯に短し、たすきに長し。の感は否めない。わが国は、国民皆保険の施行と救急医療と高度医療、地域医療のバランスのよい導入によって、世界有数の長寿国になった。

しかし、国の社会保障費抑制の中で医療を取り巻く環境は悪化し、過酷な勤務を強いられる医師の過労死、小児科や産婦人科の医師不足など地域医療も崩壊の危機にさらされている。ともあれ政治的な話は別にして、本書は『あきらめない』の題名通り、地域医療の現場で毎日患者と向き合っている医師として、あらゆる病苦で苦しむ方々にあきらめず強く生きていく方法を模索しようという提案している。あきらめないで強く生きようといってもさまざまな葛藤があり、言うは易く行うは難しであるのも確か。病気の

種類はさまざまだが、医師として患者といかにして触れ合っていくのがいいのか、生きがいや希望を持ち続けることで免疫機能を高め、人生を楽しむことを説く。医師と患者がお互いに水平の関係になって、ホスピタリティを大切にした病院づくりが、著者の願望ではないかと読み取れる。現代医療がこれまで推し進めてきた効率良く、病気を診る医療ではなく、病気を持つ人の人間全体や、一緒に生活する家族や地域における在宅医療をはじめ、看護、介護機関等の連携により心を注ぐ医療を押し進めていくのが本筋だと。



健康な時にこそ命や人生の意味について考えるべきではないか、と問う著者の声が届いてくる。人生の苦難の真つただ中にいる人たちに読んでもらいたいという著者の願いは、気負うことなく生きろというメッセージとなつて心に残る。

「パパの極意—仕事も育児も楽しむ生き方—」

安藤哲也著 日本放送出版協会 / 735円(税込)

パパカはママカなり



「育児も、仕事も、人生も、笑って楽しめる父親を増やしたい」という著者は、NPO法人ファザーリング・ジャパンを立ち上げて、男性の子育てと父親の自立を支援している。この本には、3人の子どもの父親である安藤さんの体験が、喜びとともにリズムカルに綴られてい

る。読むと、もう一度子育てをしなくなる。著者は、最初の子どもが生まれる時、楽しく笑う両親の姿をなるべく見せたいと思ったそうだ。自分の父親を反面教師とし、小学校5年生の時に出会ったジョン・レノンの「ラブ&ピース」の世界に憧れ、自分の家庭を持った時の理想とした。学校の先生や働いた会社の上司の中にも、尊敬できる父親像を見つけたことができたのは幸せだった。ロックが好きで、いつも「ロックしているか」と自分に問いかける。ロック、すなわち誰かの心を揺さぶるのだ。子育てでも、仕事でも、PTA活動でも。

常に周りに働きかけて仲間を作り、地域で活動する。実に社会性が豊かなのだ。子どもを守るためには親たちが手を繋ぎなくてはだめだということを保育園でアスベスト問題が起きた時に学んだのだろう。ちゃんと育児をしている人は、こんな能力が身につくという。すなわち
①タイムマネジメント能力。
②コミュニケーション能力。
③問題発生予知能力。
だから育児をする男は、仕事も人間関係もうまくやれるのかと納得。

資料として、興味深いアンケート結果が載っている。「父親が子育てしやすい会社トップ10」だ。平成19年2月に2,238社に送り、回答があった69社(3.1%)の中から選んだ。回答が少ないのに驚いたが、それほど日本企業はお粗末なのだろうか。何より嬉しいのは、著者が女性に敬意を持ち、ママにも輝いてほしい、その上でハッピーな関係を作りたいたいと言っていることだ。こんな父親になつてもらうためには、妻の力によるところが大きいと具体的なアドバイスが書いてある。この本は、パパたちに読んでほしいが、まずママが読もう!

「山野草」のこれから

サロンでは、1杯500円でコーヒーや紅茶が注文できます。瀧太郎さんがシエーカーを振って作るレモネードは、さわやかな味の一品。瀧太郎さんはサロン開設にあたり、カフェフードスクールに1カ月通ったそうです。

「いずれは軽食も出したいと思っております」とのこと。

更にボランティアの音大生を招いてコンサートを開催するなどの企画もスタートさせています。

「お茶を飲みながら、サロンに流れる音楽を聴きながら、仲間と談笑したり、読書したり、ゆつくりと自分ひとりの時間を過ごしていただいたり、そんな中で一期一会の出会いがあったり…、来ていただいた方が思い思いにサロンで過ごしていただくことが目標です」と語るご夫妻。

「山野草」を軌道に乗せることが、今のご夫妻の生きがいにもなっているそうです。「毎日を丁寧にご過ごせることが、一番の利益だと考えています」と、とても前向きな言葉が聞けました。



にこやかに接客中



一度訪ねてみてください

スタートしたばかりのサロンなので来訪者のない日もあります。そんな日はご夫妻でお茶を飲んだり、草むしりをしたりしています。来訪者があると嬉しさ格別の様子のご夫妻。お茶を飲みに寄られた方々に笑顔で接客をする姿は、なかなか様になっています。

「私たちのサロンは始まったばかり。地域には長年、交流活動に尽力されている先輩方がたくさんいます。団塊世代がこんな第二の人生をスタートさせたというのを知っていただければ良いと思っております。また、これからこのような交流サロンが増えていくといいなという思いも込めてやっています」と瀧太郎さんは言います。



ピアノ演奏の
ボランティア
三津橋真弓さんと一緒に

「山野草」は、氷川台の高台にあり、心地良い風が庭を通って室内に入ってきます。長年にわたりそれぞれのご両親を介護し、現在も在宅介護をしながら、ご夫妻は自分たちの夢を実現しました。多くのご苦労を乗り越えたご夫妻主宰の真心こもるサロンに、足を運んでみてはいかがでしょうか。

* 山野草 *

営業日

火・水・木・金

午前11時～午後4時

☎042-472-0789

○ミニデイホーム

高齢者を対象に、地域の住民が中心となって企画、開催する定期的な集まりのこと。

○地域交流サロン

地域の人々の交流を目的に開かれる場。

案内図



花が好きなので、野の花の咲く静かな山麓をイメージしてサロンの名前を「山野草」と名づけました。お気軽に、遊びに来て下さい。



特集



シネマ



de おしゃべり

きっと観^みえてくる あなたの生き方
～上映作品を振り返る～



男女平等推進センター（愛称・フィフティ²）は、男女共同参画社会の形成を促進するための事業を行ない、市民の皆さんの活動を支援するための施設です。センターでは、DV（ドメスティック・バイオレンス*）や子育て、自分らしい生き方や労働問題などをテーマにした、さまざまな講座を開催しています。

「シネマdeおしゃべり」はそれらの講座の中の一つで、5年にわたって続く息の長い講座になっています。ミニシアター気分で見映し鑑賞した後、ひと時のおしゃべりの場を設けたスタイルが大変好評です。「映画館のない東久留米の名画座に…」と応援して下さる声も寄せられています。

今号の特集では、知る人ぞ知る男女平等推進センターの人気講座「シネマdeおしゃべり」の歴史を映画紹介をかねて、日本と東久留米市の男女共同参画施策の動きとともに振り返ります。

映画をきっかけにフィフティ²に足を運んでいただけたら、とてもうれしく思います。

*一口解説 ドメスティックバイオレンス

夫婦やパートナーなど、親密な間柄で行なわれる暴力行為をいいます。暴力は身体に対するものだけでなく、暴言や、性行為の強要、生活費を渡さないなどの経済的暴力も含まれます。

サポーターの声

シネマサポーターは現在9人が登録されています。登録の動機やシネマdeおしゃべりについての思いなどをうかがいました。

定年後、映画を存分に見ています。一生のうち体験できることは限られていますが、映画を通して疑似体験できるのが魅力です。サポーターは、是非やりたい！と立候補しました。

映画は議論を重ねて選ぶので、それもまた楽しいです。鑑賞後におしゃべりすることで、映画がよみがえってくるし、十人十色の感想も毎回面白いと思っています。

映画が大好きです。サポーター募集のチラシを見て「シネマdeおしゃべり」を知り、「シネマdeおしゃべり」を通してセンターを知りました。

育児の合間にほっと出来ます。サポーター会議もシネマ当日も、出られる時にあればいいので負担が少ないです。

以前参加した時に「おしゃべり」がとても楽しかったので、サポーターになりました。介護をしているので、近くで映画も観られていい気分転換になっています。

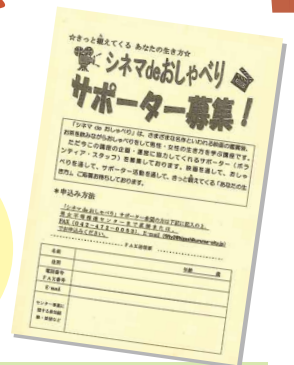
自分では選ばない映画に出会い、いろいろな発見があります。



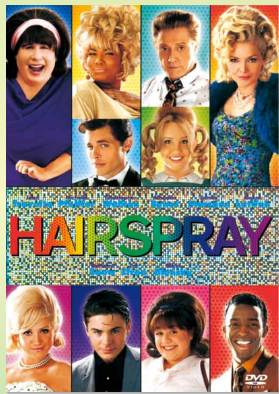
シネマ・サポーターとは？

平成18年度から「シネマdeおしゃべり」の運営のお手伝いをしてくださっている市民のボランティアさん。サポーターの皆さんは、年数回、不定期で開かれるサポーター会議で、センター職員と一緒に上映する作品の選定を行なっています。

また、「シネマdeおしゃべり」当日の会場準備・受付・上映後のおしゃべりの司会進行などに協力していただいています。随時募集していますのでお気軽にセンターまで。



次回の上映は…「ヘアスプレー」



あらすじ

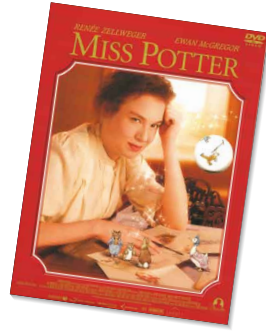
おしゃれとダンスに夢中な女子高生トレーシーの夢は、人気テレビ番組「コニー・コリンズ・ショー」のダンサーになること。ある日、番組のオーディションが開催されると知ったトレーシーは、自分と同じく大柄な母親エドナの反対を押し切り、オーディションに参加する。

2003年度のトニー賞で8部門を獲得した大人気ブロードウェイ・ミュージカルを映画化したコメディ・ミュージカル作品。

11月3日(祝・月) 15:45~18:15
東久留米市役所 7階701会議室 (定員100人)

申込みは往復ハガキで。詳しくはセンターにお問い合わせください。

「シネマdeおしゃべり」は男女平等推進センターの運営を支える市民の集まりである運営協議会の発案で「もっとセンターを知ってほしい」「楽しく映画を観て、男女共同参画について考えてほしい」とスタートしました。映画鑑賞後、お茶を飲みながら参加者同士がおしゃべりをして、男性・女性の生き方を学ぶ講座です。上映はセンター会議室を利用しますが、作品によっては市内の他施設で開催することもあります。人数が多いときは、お茶だけ飲んでいただくなど、開催の様子はその都度異なります。



実際の「シネマdeおしゃべり」 はどんな感じ？

『ミス・ポター』が上映された平成20年7月30日のセンターの様子を見てみましょう。

午前の部
9:00
サポーター集合・会場設営
受付準備など
9:30
開場
10:00
上映開始
11:30
おしゃべり開始
12:30
終了

午後の部
13:30
サポーター集合・開場
14:00
上映開始
15:30
おしゃべり開始
16:30
終了

この特集の取材のため、「シネマdeおしゃべり午後の部」に初めて参加しました。

センターの自動ドアが開くと、「こんにちは」ととても明るい声が聞こえます。受付をしているのは、シネマサポーターの方々。受付の他にも会場準備やおしゃべりの司会進行、記録などを分担されているそうです。午前・午後と2回上映だったので、「交替しながらサポーターの方々には、都合の良い時間に手伝わなくてもらっています」とセンター職員の話でした。

定員24人の会場はほぼ満員。事前に行

復ハガキで申し込むのですが、午前・午後の部とも定員を超えての申し込みだったそうです。

作品によっては抽選になることもあるそうです。ハガキには、応募なさった方の思いが込められているものもあり、今回は、ピーター・ラビットが好きという一言とともにピーターのイラストが描かれたハガキもあったそうです。

映画は、映画館よりずっと小さなスクリーンでしたが、充分に楽しめました。

鑑賞後はロビーに場所を移動し、お茶を飲みながら一人ひとり感想を話しました。約10人が参加していました。女性問題に興味のある大学生や、定年後の男性、主婦の方など年齢も環境も違う人々がいて和やかな雰囲気です。

自分だけでは気づかなかった映画を観る視点にハッとしたり、うんうんとうなずいたり。一緒に映画を観るといふ「時」を共有した連帯感もあり、一期一会の出会いいかもしれませんが、感想や日々の暮らしの中での思いなどが素直に口から出てくるような気がしました。

平日の昼間の上映だったので無理なものでしょうが、男性の参加がもつとあると、男女平等推進センターの事業としてはいいのではないかと思います。聞くと『東京タワー』は、夜に上映したそうです。休日には開催する予定もあるようで、上映については市の広報にもお知らせが載るそうです。

おしゃべりの後にシネマサポーター募



おしゃべりの様子。いろいろな感想が出るので、また新たな感動が生まれます。



集のお話がありました。現在のサポーターの皆さんも「シネマdeおしゃべり」に参加したことがきっかけでたずさわることになった方がほとんどだそうです。「出来ることを手伝わっていただければいいですよ。ぜひ一緒にやりましょう」とのことでした。市民参加の事業なのだと思います。実際、誰がサポーターさんなのか、職員さんなのか、参加者なのか、皆さんわいわいとやっている様子でした。保育（2歳以上就学児未満）もあって、映画を観に来た方やサポーターさんのお子さんが遊んでいました。映画を通して市民が交流し、その輪が広がっていいなと思いました。

日本・東久留米市
男女共同参画施策
の動き

東久留米市婦人
問題協議会設置

「女子差別撤廃
条約」批准

男女雇用機会均
等法施行

男女平等社会を
実現するための
東久留米市行動
計画策定

東久留米市女性
問題協議会設置

男女平等推進
プラン(第2次行
動計画)策定
第1回東久留米
女性フォーラム
開催
男女平等推進市
民会議設置

1982
(S57)

1986
(S61)

1987
(S62)

1988
(S63)

1994
(H6)

1996
(H8)

東久留米の女性情報誌「ウイメン」創刊。
創刊号と第2号は年1回、
第3号から現在まで年2回の
発行になっています。

第13号から、いつも新鮮な
ときめきを感じながら生きて
いくための情報誌に「とき
めき」と変更しました。
第28号から女性情報誌改め、
男女共同参画情報誌となりま
した。



日本・東久留米市
男女共同参画施策
の動き

幸町に男女平等
推進センター開設
東久留米市女性
議会開催

男女平等推進セ
ンター運営協議
会設置

男女平等推進セ
ンターの愛称
「ファイティ」に。

男女共同参画
都市宣言

改定版 男女平等
推進プラン第3次
行動計画策定

DV防止法施行
「男女共同参画
週間」スタート

仕事と子育ての
両立支援策に関
する専門調査会

1997
(H9)

1999
(H11)

2000
(H12)

2001
(H13)

2003
(H15)



ビデオ(現シネマ)deおしゃべりが始まる



第1回目の上映は「スカーレット・レター」 迫害の中で愛を貫き通した女性を描いた作品です。ちなみに当時はビデオdeおしゃべりと言っていました。平成17年度からシネマdeおしゃべりという名称を変更しました。

「ファーストワイフクラブ」
3人の熟年女性が夫たちへの復讐を開始!

「フライド・グリーン・トマト」
横柄な夫にうんざりしていた女性がある老婆の昔話を聞くうちに、自分の人生を歩き出す。

「クレイマー・クレイマー」
妻と離婚した夫は、幼い息子の面倒を見るのだが、いわずと知れた名作。

最初は市役所の会議室で上映していました。音響機器が揃って
いなかったため、音が出なくて映像だけ
が流れた...なんてことも。



男女共同参画都市宣言
わたしたちは
生まれたときから平等です
性別に関係なく
年齢に関係なく
わたしたちは
互いに人権を尊重し 責任を分かちあいます
家庭でも
学校でも
職場でも
地域でも
わたしたちは
さまざまな分野に参画して
個性と能力をいかし
一人ひとりが輝く
差別のない社会をささげます
わたしたちは
水と緑に恵まれた このまちを愛げつぎ
地球の環境をまもり 平和の輪をひろげて
男女がいそいそと暮らしをつくりまします
2000年(平成12年)10月1日
東久留米市

日本・東久留米市
男女共同参画施策
の動き

本町(現在地)
にセンター移転

2004 (H16)

少子化と男女共
同参画に関する
専門調査会

DV防止法
平成16年改正

2003 (H15)

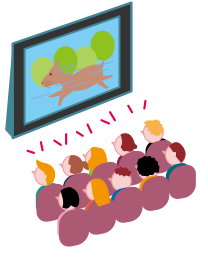


「森の中の淑女たち」
黒人女性が運転するバス
が片田舎で故障。2日間
の自給自足生活をするこ
とに。

「今日からはじまる」
北フランスの炭鉱町を舞
台に教育・福祉・家族の
あり方を問いかける。

「ルイズとケリー」
思春期の中で変化してい
く少女の友情を時間を逆
行させて描く。

「秋のソナタ」
異なった環境で生活する
母と娘の微妙な絆を描く。



2005 (H17)



「チャイナ・シンドローム」
原発事故の恐怖をリアルに描いたサス
ペンズ映画。

「アバウト・シムリット」
仕事一筋の真面目で平凡な男が定年
退職を機に第二の人生を歩みだす。

「ダンボール・ハウス・ガール」
全てをなくし、ダンボールハウスで
の生活を余儀なくされた女の子の、
絶体絶命のサバイバル・ストーリー。

日本・東久留米市
男女共同参画施策
の動き

2005 (H17)

女性の再チャレンジ
支援策検討会議
男女共同参画基本
計画(第2次)

改定版 男女平等
推進プラン(後期
計画期間)における
重点課題(設定)

2006 (H18)



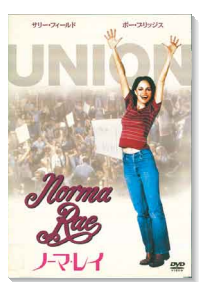
夏休みにたくさんの
子どもたちに見てほし
いと企画しました。

「アリーテ姫」
自由を求めてお城を抜け出したお姫様
の冒険。(2回上映)

「フリーダ」
過酷な運命に翻弄されながら、絵を描
くことで生きる意味を見出した伝説の画
家、フリーダ・カーロの人生。

「エリン・ブロッピッチ」
巨大企業を相手に、史上最大級の集団
訴訟に勝利した実在の人物、エリン・ブ
ロピッチの活躍を描く。

「ノーマ・レイ」
希望も理想もない女性が労働運動に関
わり、次第に自立した女性へ成長してい
く。



「ドライブング・ミス・デ이지ー」
老女と、ベテラン運転手との友情を描
いたヒューマン・ドラマ。

「集団訴訟セクハラと闘った女たち」
クララ・ビンガム、ローリー・リーデー、ガンスラー

「スタンドアップ」
女性鉱山労働者になったシングル
マザーが、男性社会の中でセクシャ
ル・ハラメントを受け、立ち上
がるまでを実話に基づいて描く。
(2回上映)



原作はこちら!
脚本本はセンターで貸し出しています。

平成18年度から市民のシネマサポーター
が運営に協力。サポーターは、上映シネマ
の選定・当日の受付やおしゃべりの司会進
行をボランティアでおこなっています。現在
9人の方が登録しています。

2007
(H19)

仕事と生活の
調和(ワーク・
ライフ・ balan
ス)に関する専
門調査会

東部地域センターを会場に
100人を越える方々が鑑賞されました。
大人数のため、おしゃべりは開催し
ませんでした。

2006
(H18)



原作はこちら!
原作本はセンターで貸し出しています。

『明日の記憶』
萩原浩著

《参加者の感想》



- *仕事の中だけでなく、家庭内でも女性に対するいじめはあると思う。
- *私も以前彼にDVを受けていたので、辛さが重くなりました。
- *声に出さなければ、何も解決しません。行動に移さなければと学びました。

「明日の記憶」
若年性アルツハイマー病に侵された男性と、支えようとする妻の夫婦愛を描く。

《参加者の感想》



- *これからの自分の生き方を考えさせられました。
- *アルツハイマーの実態、本人の不安、妻の苦しみなどがよくわかりました。
- *素敵な映画でしたが、実際はあんなにきれいごとではすまないと思います。



《参加者の感想》

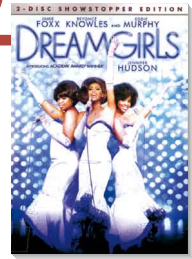


- *がばいばあちゃんの勇気がわく言葉を、これからも時々思い出して生活したいです。
- *笑いあり、涙あり、昔を思い出しました。

「佐賀のがばいばあちゃん」
どんな極貧生活にあっても、持ち前の人生哲学でポジティブに乗り越えるばあちゃんと預けられた少年の物語。

DV防止法
平成19年改正

2008
(H20)



原作はこちら!
原作本はセンターで貸し出しています。

《参加者の感想》



- *2人の女性の対照的な生き方に、人生を考えさせられました。
- *仕事や育児に忙しい毎日ですが、夢は大事ですね。

「東京タワー オカンとボクと、時々、オトン」
大ベストセラーとなったリリー・フランキーさんの自伝的小説の映画化。(3回上映)

《参加者の感想》



- *もっと親孝行する機会を持ちたいと思いました。
- *家族のつながりを大事にしていきたいと思いました。



『東京タワー オカンとボクと、時々、オトン』
リリー・フランキー著

《参加者の感想》



- *ハンディを持った子の親の苦労が身にしみて、感動しました。
- *父と子の愛情が、暗くならずユーモアを交えて描いてあったのが救いでした。

「家の鍵」
15年の歳月を経て初めて会った、父親と障害を持つ息子の交流を描く。



話題作とあって希望者がとても多かったので、2回上映の予定が、3回上映となりました。



「ミス・ポター」
ピーター・ラビットの生みの親、ビアトリクス・ポターの半生を描くヒューマン・ドラマ。(2回上映)

よくばって、楽しく生きたいパパ集合！
～育児も仕事も、パートナーとの関係も～



パパクラブ@東久留米へ！

パパクラブ@東久留米とは？

「パパたちによる、パパたちのための」クラブです。月に数回のミーティングで子育てや家事に関するの情報交換やイベント企画をしています。

パパクラブの設立のきっかけは？

昨年度「楽しんでつけよう！、パバカ(ぢから)トーク&デビュー・ライブの集い」を開催しました。講師にはNPO法人ファザリング・ジャパン代表・安藤哲也さんと東久留米市在住、会社員で歌手(「home」で今年2月デビュー)、4人の子どものお父さんである木山裕菜さんを招きました。

この時のお二人の呼びかけ、開催趣旨(「Fathering(父親であることを楽しむ)」で、楽しく育児も家事も仕事もパートナーの関係もよくばって生きよう!)に賛同した受講者が中心となって、6月「パバクラブ」が設立しました。

パパクラブの目指すところは？

右記の趣旨他、ワーク・ライフ・バランス、地域での仲間づくりです。

パパクラブ第一回イベント企画開催

8月23日土曜日、パパクラブ初めての企画運営による「親子で一緒に学んで美味しい」地元名人に教わる手打ちうどん講座(講師は「ひがしくるめ手打ちうどんの会」のみなさん)を開催しました。当日は、パパ22



「手打ちうどん講座」でのスナップ

人子ども19人、賑やかに楽しく手打ちうどん作りに挑戦。中には、パパが子どもを抱っこし、うどんの玉を足踏みする場面も。最後はママたちも含め試食しました。参加したパパたちから「親子のふれ合いを通じ人との付き合いが一緒に学習できてよかった」
「楽しかった。家でも定期的に作りたいたい」と満足度が高い感想が寄せられ、講座は大成功でした。
今後メンバーは、パパたちのためイベントを企画していきます。乞うご期待！
あなたも仲間になりませんか？

今後の講座情報(予定)

- 10/30(木) 「Get! 再就職! スキル習得で成功へ!」
- 10/31(金) パソコン講習<2日間コース>
- 11/ 3(月) 「デートDVなんてイヤ! ハッピーな交際とは?」
- 11/ 3(月) シネマdeおしゃべり『ヘアスプレー』
- 11/12(水) 「Get! 再就職! 自分を輝かせる就活テク」
- 11/15(土) 「あなたのまわりのクレーマー
～今、学校で起こっていること～」
- 2/14(土) 「ワーキングプアじゃ生きられない(仮題)」

*全ての講座に、2歳以上未就学児の保育あり。
*申込み制。必ず事前に男女平等推進センターへ、時間・場所などご確認ください。

「男女平等推進センター」をご利用ください。

施設案内

交流ロビー・参考図書・資料コーナー
会議室 保育コーナー
・会議室の使用申請は、使用日の2カ月前の初日から前日まで。

専門相談

女性の悩みごと相談

毎週月曜日(祝日を除く)の午後1時30分から午後4時30分

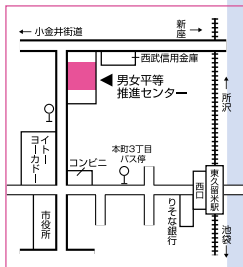
女性弁護士による法律相談

毎月第1金曜日の午前9時30分から午後0時30分
・いずれの相談も予約制(先着順)。詳しくはセンターへ。

所在地・開館時間

東久留米市本町3-9-1-102
TEL (042) 472-0061
FAX (042) 472-0053
メール fift2@higashikurume-city.jp

開館時間/月、水～日曜日
午前9時から午後9時30分
(午後7時30分以降の会議室利用がない場合は、午後7時30分まで)
閉館日/火曜日と年末年始
(12月29日～1月3日)



編集後記

- DVや派遣労働などの社会問題も学習できたり、見逃していた好きな映画も見られた。編集委員は、東久留米の穴場です。(I)
- 今夏の猛暑は、地球温暖化の影響か。ならば地球資源を破壊してきた人類が、今こそ全知全能をもって地球に恩返しすべきだろう。(S)
- 仲間にも助けられながら、今日まで続けられたこと、嬉しく思うと同時に感謝の気持ちでいっぱいです。取材で市内の私の知らない世界を調べたり、訪ねたりすることができたらーと楽しみにしております。(M)
- 介護は大変である。長年介護をされ、介護しながら夢を形にした鈴木ご夫妻。人生いろいろあるけれど前向きな人生は素敵!(T)
- 「ときめき」で出会った方々にたくさんの元気をもらったような気がします。地域で暮らすということを毎回考えさせてくれます。(N)

「ときめき」は、年2回発行。公募の市民による編集委員5人と協力員4人が企画編集しています。内容についてあなたのご意見・ご感想を市民部生活文化課、または男女平等推進センター宛お寄せください。